

人生を描く。

「僕らの人生は選択という迷い道と

カーブミラーに映る足跡だ。」

—— 由衛健司

由衛健司 画 (1953—2008 享年54歳) 《景》 73.5×102.0

八女市で生まれ、八女市で育ち、生涯をととして八女市で創作活動を行う。

2020.2.8 [土] — 3.1 [日] 入館無料

開館時間 9:00—17:15 (入館は17:00まで)

月曜休館 (祝日の場合は翌日／観梅会期間中は月曜も開館)

企画展前後の展示替えに伴う休館 1/27 [月]～2/7 [金]、3/2 [月]～3/9 [月]

■ 特別展示 (同時開催) ◎五木寛之を辿る

■ 期間中「第31回夢たちばな観梅会」が開催されます。ぜひお立ち寄りください。

2020年2月15日 [土]～23日 [日] 会場／谷川梅林 (福岡県八女市立花町谷川)

八女市 YAME TASAKI HIROSUKE MUSEUM of ART
田崎廣助美術館

福岡県八女市立花町原島 108-1 TEL...0943-24-8304

八女

Yame

ゆかりの
画家たち展
part 2
八女市民の
名画コレクション

八女ゆかりの 画家たち展 part2

八女市民の名画コレクション

2020.2.8 [土] - 3.1 [日] 入館無料

開館時間 9:00 - 17:15 (入館は17:00まで)

月曜休館 (祝日の場合は翌日 / 観梅会期間中は月曜も開館)
企画展前後の展示替えに伴う休館

1/27 [月] ~ 2/7 [金]、3/2 [月] ~ 3/9 [月]



田中春弥《明朝壺の肥後椿》 八女市出身



杉山洋《卓上静物A》
八女市在住



大津英敏《夜明け》
母の実家: 八女市



安達弘記《紅い雲》 八女市在住

八女地区は清流矢部川と温暖な気候風土に恵まれ、さらには八女独特の牧歌的な風情から多くの文化人を輩出しています。

八女市内の学校等に収蔵されている作品を展示した「八女市ゆかりの画家たち展 part1」(2019年)の第2弾として開催される今回の展覧会では、八女市民の皆さんが個人的に所蔵する八女ゆかりの画家たちの名画にスポットを当て、所有者の同意を得て公開いたします。生涯を通じて八女で創作活動を行った由衛健司氏(故人)の作品をはじめ、市民の目を選んだ絵からは、画家たちの魅力やその叙情が伝わることでしょう。

今後も八女ゆかりの文化人を顕彰するためのこの企画展は、芸術文化の枠をこえて継続的に展開していきたいと考えています。ご期待ください。

大津英敏 / 田中春弥 / 吹春十二郎 / 田中一行 / 青沼茜雲 / 田代喜玖生
小田和典 / 小田創 / 由衛健司 / 杉山洋 / 安達弘記 / 松尾洋明
友添泰典 / 池田つた子(順不同)

特別展示(同時開催)

■五木寛之を辿る

1932年八女市生まれ。「蒼ざめた馬を見よ」で第56回直木賞受賞。1976年「青春の門」で吉川英治文学賞受賞。代表作は「朱鷺の墓」「大河の一滴」「百寺巡礼」「親鸞」等。最新作は「新青春の門 第9部 漂流篇」刊行。今回は、五木さんの郷里八女に関わる貴重な資料等も展示する予定です。

立花町 催事のご案内

■第31回 夢たちばな観梅会

2020年2月15日[土] ~ 23日[日]

会場 / 谷川梅林 (福岡県八女市立花町谷川)

九州有数の梅の産地「谷川梅林」は九州の梅の三名園とされており、約2万本の白梅が見事に咲き誇ります。会期中、会場では様々なイベントや地域名産品の販売会も開催されます。

アクセス

八女市 YAME TASAKI HIROSUKE MUSEUM of ART

田崎廣助美術館

福岡県八女市立花町原島 108-1 TEL...0943-24-8304



車.....九州自動車道八女ICより約15分、広川ICより約20分
駐車場無料(八女市役所立花支所の駐車場をご利用ください)
アクセス
電車・バス...JR 羽犬塚駅下車、堀川バス・八女方面「福島」に乗換(約35分)、
堀川バス・迎春平山線に乗換(約5分): 丸野下車